

報道関係各位

平成 27 年 8 月 12 日  
公益財団法人 日本英語検定協会

～海外留学での語学力証明として認められる「実用英語技能検定」～  
カピオラニ・コミュニティカレッジ(米国・ハワイ州)  
日本人留学生 約 6 人に 1 人が実用英語技能検定を活用

アメリカ合衆国（以下、米国）で最も多くの日本人留学生を受け入れる、米国・ハワイ州のカピオラニ・コミュニティカレッジ（Kapi'olani Community College 所在地：4303 Diamond Head Road, Honolulu, HI 96816 USA）におきまして、このたび、日本人留学生の約 17%、つまり約 6 人に 1 人が、公益財団法人 日本英語検定協会（理事長：松川孝一 所在地：東京都新宿区、以下、英検協会）が実施・運営する、「実用英語技能検定」を活用して入学していることが、当カレッジの調べで分かりました。

今年 2015 年 5 月時点でカピオラニ・コミュニティカレッジに入学した日本人留学生は約 280 名、うち実用英語技能検定を活用しての入学者は 47 名です。

**【海外留学での語学力証明として認められる「実用英語技能検定」】**

「実用英語技能検定」は、語学力証明資格として、現在、米国、オーストラリア、カナダ、ニュージーランド等、海外の約 400 の教育機関で認定されています。日本の多くの学生が慣れ親しむ当検定を、そのまま海外留学の語学力証明として活用できることで、海外留学を目的とする、他の資格・検定試験を新たに受験する必要がなくなり、それが海外留学希望者にとっての大きなメリットとなっています。さらに「Speaking」能力測定におきまして、面接官と 1 対 1 の対面で行う当検定の面接形式が、グローバル人材として必要な双方向でのコミュニケーション能力を的確に測るものとして、こちらも高く評価されています。

こうした背景におきまして、カピオラニ・コミュニティカレッジは、およそ 10 年前の 2004 年 1 月から、米国で初めて当検定を入学のための語学力証明として採用し、その基準は、ESOL（注 1）クラスは高校中級以上の準 2 級以上、ESOL の受講を必要とせず正規授業への参加が認められるのは 2 級 A（注 2）以上の取得としています。

	認定級	詳細
留学基準	準 2 級・2 級	ESOL クラス
	2 級 A 以上	正規授業への参加が可能

（注 1）ESOL とは、English for Speakers of Other Language Program の略。英語を母国語とする学生と一緒に正規授業を受けることのできるレベルまで英語力を向上させるためのクラスです。

（注 2）2 級 A とは、2 級の 1 次試験（RL 筆記試験）を約 75%以上の正答率で合格していることを表します。

## 【カピオラニ・コミュニティカレッジでの「実用英語技能検定」を利用した入学者数の推移】



※入学者数に関しては、準2級以上の各級の取得者の合算です。

こうした動向に対しまして、カピオラニ・コミュニティカレッジ留学担当の Takashi Brandon Miyaki 氏は次のように述べています。「2006年から実用英語技能検定を活用した日本人留学生の受け入れを開始し、以来、増加の一途を辿っています。当検定を活用して入学してくる学生の多くは、卒業時に大変優秀な成績を収めており、その後ハワイ大学に進学する学生も増えています。ハワイの最高のロケーションのなかで、一人でも多くの日本人留学生が一層、勉学にいそしみ研鑽を積んでもらうことを願ってやみません。」

カピオラニ・コミュニティカレッジは、入学後優秀な成績を収めている、実用英語技能検定を活用して留学する日本人学生を一人でも多く獲得していきたいと願っています。そこで、毎週土曜日に開催され、日本人観光客1万人程が毎回集まる「ファーマーズマーケット」におきまして、来場した日本人観光客に当検定を活用した留学のPR活動を行っていくことを現在計画中です。さらに日本国内の高等学校を訪問し、直接働きかけていくことも検討しています。

日本英語検定協会としましては、カピオラニ・コミュニティカレッジで当検定を認定基準としてご活用いただいていることに感謝の意を申し上げますとともに、日本人留学生の約6人に1人が当検定を活用しての入学であり、なおかつ卒業時に優秀な成績を収めていることに対し、たいへん喜ばしく思っています。

今後とも、わが国の「日本人留学生倍増計画」の実現に向け、一人でも多くの学生が夢を持ち、輝かしい未来を手にするための留学促進の支援を続けてまいります。さらに実用英語技能検定を海外の多くの教育機関で認定いただけるよう、一層の試験の質の向上に努めてまいります。



<本件に関するお問い合わせ>

Kapi'olani Community College 留学担当 Takashi Brandon Miyaki

E-mail : [tmiyaki@hawaii.edu](mailto:tmiyaki@hawaii.edu)

公益財団法人 日本英語検定協会 広報部 広報課 課長 高橋大輔

TEL : 03-3266-6840 FAX : 03-3266-6570

E-mail: [kouhou21@eiken.or.jp](mailto:kouhou21@eiken.or.jp)



(左よりカピオラニ・コミュニティカレッジ学長 Leon Richards、英検協会理事長 松川孝一)



■カピオラニ・コミュニティカレッジ (Kapi'olani Community College)について

ハワイ州立大学付属カピオラニ・コミュニティカレッジは、1941年創立のアメリカ合衆国ハワイ州オアフ島ホノルル市に本部を置く、ハワイ大学システム (University of Hawai'i System) に所属する大学の1つです。観光学科や料理学科など職業直結のハワイらしいユニークな専攻科目の充実で人気があり、4年制大学編入プログラムも充実しています。また、全米で唯一のハワイ語学研究科博士課程を持つ大学院を設置しています。全学生数は8,000人で、そのうち約700人が留学生となっております。

カピオラニ・コミュニティカレッジ (Kapi'olani Community College) ウェブサイト:

<http://www.kapiolani.hawaii.edu/>

■公益財団法人 日本英語検定協会について

公益財団法人 日本英語検定協会は、「実用英語の普及と向上」を目的に1963年に設立されました。以来、「実用英語技能検定」の実施・運営のほか、児童向けの「英検 Jr.」、英語教育現場で使える英語能力判定テスト「英検 IBA」や、留学・海外移住のための英語運用能力試験である「IELTS (アイエルツ)」、ビジネスパーソン向け英語能力テスト「BULATS (ブラッツ)」、大学入学後のアカデミックな場面での英語運用力をより正確に測定するテスト「TEAP (ティーブ)」、さらには英語教育に関する優秀な研究企画に助成金を交付する「英検研究助成金」制度など、実用英語の普及・向上に向けた様々な取り組みを展開しております。

英検協会ウェブサイト：<http://www.eiken.or.jp/>